

令和元年度第2回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和元年 10 月 25 日（金）
 午後 1 時 30 分から
 場所：弥富市総合社会教育センター
 （2 階 第 2 会議室）

○議 事

1.開会

事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、令和元年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。 ・本来は危機管理課長の伊藤が行うところであるが、洪水警報が弥富市に発令されたということで、現在現場で指揮に当たっているため、私、課長補佐の岡田が務めさせていただく。
-------------	--

2. あいさつ

事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に、安藤弥富市長よりご挨拶をお願いします。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は令和元年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会にご出席をいただきありがとうございます。日ごろは弥富市の市政運営に対して、ご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。 ・台風19号は日本列島に深い爪痕を残して過ぎ去っていった。今日の雨でも被災をされた地域ではまた降り続いている。二重の被害ということでお見舞いを申し上げます。 ・先日行う予定であった地域公共交通の講演会は、台風19号の接近に伴い延期とさせていただいた。山崎先生においても日を改め、再度公共交通とは何かといったご講演をいただきたい所存である。よろしく申し上げます。 ・本日の議題は、先日の公共交通講演会の再日程、11月より開催予定のきんちゃんバスワークショップ、住民アンケート調査などが主な議題となっている。 ・委員の皆様方から慎重なるご審議、忌憚のないご意見を賜りたい。簡単ではあるが、開会に当たっての挨拶とさせていただく。よろしくお願ひ申し上げます。

3.議題

(1) 講演会について

事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議資料の確認をさせていただく。
事務局 (田中)	<ul style="list-style-type: none"> 会議資料の確認をする。 事前にお送りした資料として、

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：講演会について ・資料2：無料お試し乗車券配布結果 ・資料3：住民アンケート調査結果 ・資料4：住民意見交換会について ・資料5：蟹江警察署移転について <p>また、案内チラシとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコモビリティライフ県民の集い2019 <p>不足等あれば、事務局にお知らせいただきたい。</p>
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の議事については、議長の山崎先生にお願いする。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本協議会の座長を仰せつかっている公益財団法人豊田都市交通研究所の山崎である。 ・市長のご挨拶にもあったとおり、天候がよくない状況である。ここ数年、気候変動の影響なのか激しい風水害に見舞われることが多くなった。弥富も海浜地帯、全域ゼロメートル地帯という状況であり、水害には非常に気を遣う。予算を投じて対策をしなければならない。しているところかと思う。その部署がバスを取り扱っているということで、バスも市民の安全・安心を担保する大事な公共施設であるという位置づけで頑張っていたきたい。 ・本日の議題に入っていきたい。 ・今日の議題は6つあるが、承認事項と報告、そして意見をいただくという形のものになる。 ・1つ目、台風で延期になった講演会について、事務局から説明をお願いする。
事務局 (田中)	<p>○資料1説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1について説明をさせていただく。 ・当初、10月12日（土）に開催を予定していた地域公共交通講演会は台風19号の接近に伴い延期をさせていただいた。延期後としては、11月9日（土）午後2時30分より、弥富市十四山スポーツセンター第2アリーナでの開催を予定している。 ・内容としては、「きんちゃんバスのこれまでとこれから」と題して、きんちゃんバスのこれまでの運行経緯や、現在の状況のご報告と、きんちゃんバスのこれからとして、公共交通の現状や、これからどのようにしていくことが必要なかをいま一度考えていただきたく、本協議会の議長でもある山崎先生にご講演をいただくものとなっている。 ・事前申し込みは不要である。委員の皆様にもご参加いただけると幸いである。 ・以上、議題（1）講演会についてご報告を終了する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・僭越ながら私がお話しさせていただく講演会である。 ・当初、企画を事務局と一緒にやっていたときは、愛知県の資料にあるエコモビリティライフのような形で少し著名な方というか、仕事としてバ

	<p>スを扱っている人ではなくて、お話が上手な方や、タレント的な方を呼んで楽しくできるといいとか、市長と公開対談みたいなことも企画として考えていた。黒子に徹するつもりだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弥富でこういうバスに関する講演会は初めてなので、むしろ基本的なところから、交通って何？ということをも市民の皆さんに考えていただく会にしようということである。 ・ 私は名市大の授業で交通とは何かというのをやっている。その部分からもう少しかみ砕いた形で市民の方々に聞いていただきたい。よろしくお願ひしたい。 ・ 日程変更に合わせて場所も、十四山のスポーツセンターということである。ここより少し不便かとは思いますが、ぜひ市民代表の委員の方々には周りの方々にお声がけをお願いしたい。 ・ 何かご意見、ご質問等あればお願ひする。よろしいか。 ・ 次の「無料お試し乗車券配布結果について」に進みたい。
--	--

3.議題

(2) 無料お試し乗車券配布結果について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局から説明をお願いする。
事務局 (田中)	<p>○資料2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 2、無料お試し乗車券配布結果についてご説明する。 ・ 平成 23 年度以降、毎年実施している無料お試し乗車券の配布結果を整理している。 ・ P.2、配布結果だが、本年度は 8 月、9 月の 2 カ月間と、これまでより 1 カ月利用期間を長く設定し実施している。 ・ 無料お試し乗車券の利用枚数は 1140 枚となっており、8 月だけで見た場合は昨年度よりも利用枚数が減少している。 ・ これまできんちゃんバスを利用したことがなかった新規利用者数も 66 名と減少している。 ・ 参考として、これまでの実施概要について整理をしている。今年度と同様に平成 24 年度においては概ね 8 月、9 月の 2 カ月間の利用期間を設定しているが、利用枚数としては同程度となっている。 ・ P.3、無料お試し乗車券利用者の年齢層としては、「15～64 歳（高校生を除く）」が約 39.0%と最も多く、「高校生」の利用も 10.0%となっており、昨年度と比較すると「高校生」や「中学生」の利用が増加している。 ・ P.4、無料お試し乗車券配布以前のきんちゃんバス利用の有無について整理しており、無料お試し乗車券配布を通じた新規利用者は 66 名と昨年度よりも減少している。 ・ 新規利用者の内訳としては、「15 歳～64 歳（高校生を除く）」が多く、昨年度と比較すると「小学生」や「65～74 歳」が減少し、「15～64 歳（高校生を除く）」が増加している。 ・ P.5、車の運転免許保有状況は、「免許を持っていない」方が多くなっている。また、利用目的は「買い物・外食・旅行・遊びなどのお出かけ」

	<p>が多くなっており、昨年度と同様の傾向となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P.6、今後の利用意向としては、「利用したいと思う」が多くなっており、初めてきんちゃんバスを利用した人（新規利用者）においても「利用したいと思う」方が約9割となっている。 ・ 以上、議題（2）無料お試し乗車券配布結果についての説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただいまご説明いただいた無料お試し乗車券配布結果に関して、何かご意見、ご質問等あればお願いします。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何点か確認したい。無料お試し乗車券を平成23年度からやられているということで、これまでやってきた結果、例えば初めて使われた方は昨年は84、今年は66ということだが、初めて使われた方というのが、その後もきんちゃんバスに乗られたり、その後の検証がされていることがあるのかどうか。 ・ 今後、来年度以降も含めて、事務局としてこのあたりの施策について何かやっていきたいこと、考えられていることがあれば教えていただきたい。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料お試し乗車券配布については、P.2に過去の統計があるように、あくまでも新規の利用者の方を掘り起こすということを目的として行っている。 ・ 初めて利用された方が今年度は66名ということで少し減少しているが、年間の利用者人数では年々今のところ増加の傾向を示している。こういう方たちが、それ以降乗車いただいているものと思っている。 ・ これ以降の検証については現時点ではまだ行っていない。今後何か考えていかなければいけないとは思っている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしいだろうか。 ・ 今、ご意見をいただいたところは、去年初めて利用した80何人が、その後どうだったかということの調査をやっているかということだが、まだ実際はやってはいないということである。 ・ 以前もそういった指摘をいただいたことがあり、追いかける調査が必要だという話はあったと思う。 ・ 今回のお試し乗車券は無料で乗れる代わりにアンケートに答えていただくことになっている。アンケートの中で聞いていくのが煩雑すぎるというところがあり、今回それが聞けなかったのではないか。 ・ ほかのアンケートの質問から、お試し乗車券をきっかけにして利用するようになったかどうかというのは、今まで1度も市民アンケートでも聞いたことがなかったのか。私自身はあまり記憶にない。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の把握している範囲ではやった記憶はない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケート、市民アンケートで、過去に無料お試し乗車券を使ったことがきっかけでその後使うようになったという人が、拾い切れないかもしれないが、調査を考えたほうがよいのではないか。
上井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後どう生かしていったらいいか、そういったところを触れていただけ

(愛知運輸支局)	ると非常にいいと思う。
山崎議長	・事務局のほうできちんと対応していくようにお願いします。
事務局 (岡田)	・資料3、P.23に無料お試し乗車券の利用状況について今回の市民アンケートでお聞きしていた。 ・⑩「無料お試し乗車券」の利用状況というところで、一番上に0.5%、4名が、その後利用との回答をいただいている。
山崎議長	・確かに数が少ない。無料お試し乗車券をきっかけにきんちゃんバスを利用している人は4人で、お試しをした以降利用していない人が27人、統計的にどうこう言うには数が少ない。 ・その後使っている方はいるということの把握はできている。 ・無料お試し乗車券に関して、ほかに何かご意見、ご質問等あればお願いします。よろしいか。

3.議題

(3) 住民アンケート調査結果について

山崎議長	・資料3、住民アンケート調査結果についてということで資料の説明をお願いする。
事務局 (田中)	○資料3 説明 ・資料3、住民アンケート調査結果についてご説明する。 ・市内在住の15歳以上の2000名の方を対象に住民アンケートを実施した。回収は828通、41.4%の回収率になっている。現在の網形成計画策定の際に実施した住民アンケートでは約44%の回収率となっており、概ね同程度の回収率となっている。 ・集計結果についてご説明する。 ・回答者は女性や高齢者の方が多くなっており、全年代、全小学校区から回答を得ている。 ・P.2、通勤・通学をする場合の外出についてである。外出の曜日は「平日」が多く、「車（自分で運転する）」が多くなってきている。 ・P.3、P.4の主な外出時間については、「7:00」から「8:00」ごろに家を出発し、「18:00」から「19:00」ごろに帰ってくる方が多くなってきている。 ・P.5の通勤・通学先は「名古屋市」が最も多くなっており、次いで、「その他弥富市内」が多くなってきている。 ・P.6からは、通院する場合の外出についてとなっている。外出の曜日は「特に決まっていない」が多くなっており、「月に1~2回以下」の頻度が多くなってきている。 ・交通手段は「車（自分で運転）」や「車（家族などの送迎）」が多くなってきている。 ・P.7、P.8の主な外出時間については「9:00」から「10:00」ごろに家を出発し、「11:00」から「12:00」ごろに帰ってくる方が多くなってきている。 ・P.9の通院先は「海南病院」が最も多くなっており、「市外」に通院する方も比較的多くなってきている。 ・P.10からは、公共施設に行く場合の外出についてとなっている。外出の

	<p>曜日は「特に決まっていない」が多くなっており、「月1~2回以下」の頻度が多くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 公共施設に行く場合の主な曜日という文章中で、「多くなっている。多くなっている。」となっており、後ろの「多くなっている。」を消していただきたい。 ・ 交通手段としては、「車（自分で運転）」が多くなっている。 ・ P.11、P.12の主な外出時間については、「9:00」から「10:00」ごろに家を出発し、「11:00」から「12:00」ごろに帰ってくる方が最も多くなっている。 ・ P.13の外出先については、「弥富市役所」が最も多くなっている。 ・ P.14からは買い物をする場合の外出についてとなっている。外出の曜日は「特に決まっていない」が多くなっており、「週1~2回」が多くなっている。 ・ 交通手段は「車（自分で運転）」が多くなっている。 ・ P.15、P.16の主な外出時間については、「9:00」から「10:00」ごろに家を出発し、「11:00」から「12:00」ごろや、「17:00」ごろに帰ってくる方が多くなっている。 ・ P.17の買い物先については、「イオンタウン弥富」が最も多くなっており、「ピアゴ十四山店」など、各地域のスーパーなどへの買い物も多くなっている。 ・ P.18の現在のきんちゃんバスの利用状況についてである。各ルートともに「利用したことがない」が多くなっている。 ・ P.19のすべてのルートについて、利用したことがない方については、自宅最寄りのバス停の位置が「徒歩約5分以内（概ね100~300m）」にあるが最も多くなっており、半数近くの方が300m以内にバス停がある。 ・ きんちゃんバスを利用しない理由としては、「自分で車やバイクを運転できる」が最も多く、次いで「徒歩や自転車で移動できる」が多くなっている。 ・ P.20の今後の利用意向については、「自分で車やバイクを運転できなくなったら利用したい」という方が最も多くなっている。 ・ 過去に利用したことはあるが、1年以内に利用していないルートがある方について、利用しなくなった理由としては、「自分で運転する車やバイクを利用するようになったから」が最も多く、「日中のダイヤが合わなくなったから」というのも多くなっている。 ・ 今後の利用意向としては、「自分で車やバイクを運転できなくなったら利用したい」という方が最も多く、「家族などに車で送迎してもらえなくなったら利用したい」、「自転車で移動できなくなったら利用したい」という方も多くなっている。 ・ P.22のバスで行きたい（行ってみたい）施設や場所については、「近鉄弥富駅」が最も多く、「弥富市役所」や「イオンタウン弥富」、「海南病院」なども多くなっている。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ P.23、サイクル&バスライド駐輪場の利用状況は、「利用できることを知らなかった」が最も多くなっている。 ・「無料お試し乗車券」については、「無料お試し乗車券を知っているが、利用したことがない」が最も多くなっているが、「無料お試し乗車券を知らない」方も比較的多くなっている。先ほどご質問にあった「無料お試し乗車券をきっかけにきんちゃんバスを利用している」という方は0.5%、4人となっている。 ・ P.24、今後のきんちゃんバスの運行については、「現状の費用負担で運行を維持すべき」が最も多くなっており、「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき」や「費用が増えても減ってもどちらでもよい（よくわからない）」という方も多くなっている。 ・きんちゃんバスが運行していることで感じることについては、「将来、車などを利用できなくなった場合の重要な交通手段」が最も多く、「自動車を運転できない人にとっての重要な交通手段」であると感じられている方も多くなっている。 ・ P.25、きんちゃんバスにとっての重要度を、「重要でない」を1点、「あまり重要でない」を2点、「どちらともいえない」を3点、「やや重要」を4点、「重要」を5点とした場合の回答者の平均で見た場合、「運行本数」の重要度が最も高く、「運行ルート・所要時間」、「自宅から最寄りのバス停までの距離」、「降車バス停から目的地までの距離」などが高くなっている。 ・ P.26、運転免許は約8割の方が保有している。 ・運転免許の返納意思については、「返納する予定がない」が多くなっており、「返納する予定がある」では「80～84歳」での返納予定が多くなっている。 ・なお、右側の返納予定年齢のグラフのn値、回答者数について、資料では、「n=660」となっているが、このグラフは「返納する予定」と回答した106名の方の回答となっており、「n=106」に修正をお願いする。 ・ P.27、運転免許を返納した場合の主な交通手段は、「自転車」が最も多く、「徒歩」や「車（家族などの送迎）」も多くなっている。 ・自分で自由に使える車やバイクの保有状況は「持っている」が9割と非常に多くなっている。 ・今後このほかに実施している利用者アンケートや、OD調査の結果、きんちゃんバスの利用状況等についても併せて整理分析し、課題の把握や網形成計画の見直しの基礎資料等にしたいと考えている。 ・以上で、議題（3）住民アンケート調査結果についての説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今ご説明いただいた住民アンケート調査結果ということだが、調査を実施したのが、8月中旬に配布をして、今日は10月25日であり、1カ月少しである。データ化して単純にざっと集計をした。このような傾向があるということを今日のご報告いただいた。説明の最後にあったように今後これを参考に課題の整理等を行っていくということである。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今の段階で、何かご意見、ご質問等、このようなまとめ方をすべきだとか、このようなことが見えてくるのではないとか、何か意見をいただけたら事務局の役に立つので、ぜひ意見をいただきたい。いかがだろうか。 ・前半部分はバスの利用に限らずに住民がどのような移動をしているか、移動ニーズがあるかということを知っている。後半でバスの利用に関して知っているということだが、よろしいだろうか。 ・P.22のバスで行きたい（行ってみたい）施設や場所を知っているが、聞き方は、今あるきんちゃんバスを含め、バスのネットワークを想定してもらっているのか、あるいはそれは無視して答えてもらっているのか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・今のバスでの想定をしている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のバスでは行けない施設も挙げていなかっただろうか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・挙がっている。将来的な参考ということである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとっては今のバスがきつと頭にあるだろうが、今たくさん回答がある「市役所」、「イオンタウン」、「海南病院」、「近鉄弥富駅」、そういったところは大体きんちゃんバスで行ける場所ということか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらの棒グラフで多いところの大半のところは、ほぼバス停がカバーしているエリアになる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それ以外で比較的多くて、今のバスの路線サービスでは対応できないところというのは、例えばどのようなところがあるのか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・蟹江駅と富吉駅は現状では路線外となっている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういったところへのサービスも考えるのか、どうするのか。今地域間で連携をするという話もある。それも課題として整理していくということで、よろしいだろうか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように考えている。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・P.24、㊸きんちゃんバスの運行についてということで、「費用が増えても減っても増えてもどちらでもよい（よくわからない）」が大体26%、「市の負担を減らして」云々というところが5.5%、足すと32%、3分の1になるのだが、この方々に対して公共交通の大切さをいかに知っていただくということが重要ではないかと思う。 ・山崎先生が本日お見えの中で、また関係の行政機関が多数お見えの中で、タクシーの団体がこのようなことを申し上げるのは大変僭越ではあるが、ぜひそういったところを訴えかけていただくとともに、タクシーも公共交通の一翼を担っており、タクシーの必要性、重要性ということにも少し触れていただきたい。 ・タクシーがなくなれば、いざというときの移動の足はほとんどないと言ってもいい状況が生まれるかもしれない。自家用車にどれだけ頼れるかという問題はある。大きな問題をはらんでいる。

	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の大切さ、またそこに資本、公共財、予算を投じる必要性、さらにはタクシーの重要性も合わせていろいろな形で広報いただけると私もタクシー業界としては非常にありがたい。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通のコミュニティバス等については、現在春まつりと市の大きな行事、今度の27日の日曜日に十四山スポーツセンターで健康フェスタが開かれる。そちらにもバスの展示、出展をして利用の促進を図っている。 タクシー等の他の交通機関についても、できれば今後重要性を載せたものを展示させていただく。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査でこういう結果が出ているということもきちんと住民の方々に示していくべきである。 アンケート調査をどう使っていくのか。課題を整理していただけなのか、これだけの調査をやってどう使っていくのかという話も背景にはあると思う。 今ご意見いただいたように、一部の公共交通に対して理解を示さない市民に対して、この調査結果をずいぶんインパクトがあるものに仕上げ、アンケートで市民はこう考えている。このような移動のニーズがあるとか、そういうことをPRしていくことはどうかという話だと思う。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の重要性、役割というもの、さらには社会インフラとしていかに機能させていくかというところの視点が大事だと思う。 それに対して住民の方の理解を得る。多額の予算を使うわけであり、公共交通、きんちゃんバスにいかに理解をしていただけるのかという部分だと思う。 「費用を増やしてでも」云々、これは約3割ある。「費用を増やして」となると、恐らくは左側にある青いところだとか、紫色の人は反対する可能性もある。そこの重要性を公共の方が訴えていただく。タクシー協会の立場としてはタクシーの利用が真っ先にあるべきだが、その延長でタクシーも重要だということをぜひPRをしていただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな調査の結果などを使いながら広く市民にPRをしていくということでもよろしいだろうか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> 今後そのように取り組んでいきたい。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> 私の住んでいるところはバス停が遠い。10月に目が急に悪くなり、例えばバスを使おうと思っても、そこまで歩いていくのも少し距離がある。主人は返納して運転はできないので、タクシーを頼んで海南病院まで片道が1800円から1900円かかる。それを往復するのを3、4回した。バス停の移動ということも大事である。 費用がかかってももう少し本数を増やしていただけるとありがたい。まだ、今も通院しているので、よろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな意見が出てくると思う。 この後の議題で住民意見交換会もある。そこでも多分いろいろな意見が出てくると思う。それらに対して客観的な調査をやってきたことを示し

	<p>ながら方針をきちんと示していくということにつなげていくということだと思ふ。</p>
<p>上井委員 (愛知運輸支局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先日水曜日に、運輸支局と愛知県と共催で地域公共交通セミナーを開催した。毎年春と秋に開催をしている。秋については主に応用編ということで、今回については、いろいろな調査のやり方、データの取り方、分析、評価、改善につなげていく一連のところをもう少しレベルアップできたらよいということで、愛知県と一緒に開催をさせていただいた。 ・主に自治体の公共交通の担当者、乗合を行っている事業者の方々などがご参画いただき、事務局からも岡田補佐がご参加いただいた。学ぶことが非常多かったのではないかと思ふ。 ・先ほど多田委員がおっしゃられたP.24の費用負担のあり方についても、聞き方、やり方によっては結果として変わってくるものも出てくるかと思ふ。そういったこともセミナーの中でも講師の先生からあった。 ・今後、網計画は第2期になるかと思ふが、改正をしていくに当たって、もう少し取っていただきたいデータなどもあると思ふ。OD調査のやり方、分析のやり方もセミナーの中でもいろいろあった。それらをぜひ活かしていただきたい。よろしく願ひする。
<p>事務局 (岡田)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーに参加していろいろ勉強させていただいた。今後参考にしながら、相談させていただきながら進めたい。よろしく願ひする。
<p>多田委員 (名古屋タクシー協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再確認だが、網計画の見直しの時期、きんちゃんバスの見直しの運行予定日をもう一度お聞かせいただきたい。 ・本日は、私ども名古屋タクシー協会の会員事業者でもある名古屋近鉄タクシーの方も傍聴にお見えになっている。ぜひタクシーの事業者と今後の見直しの方向性についていろいろご協議をいただきたい。よろしく願ひする。
<p>事務局 (岡田)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・網形成計画の見直しについては、令和2年度の3月31日までに再度策定を予定している。 ・今年度はその前段階として、アンケート調査、ワークショップ等を進めさせていただいて、地域の方等のご意見等を集約している。 ・運行については、その中で随時見直しを進めていきたい。この後の(5)のところにも蟹江警察署の移転があるように、バス停の移動等もある。全体を見ながら進めていきたい。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・網形成計画の改編が令和2年度いっぱい、その後大幅な改編をもしるとすればいつごろとか、スケジュール的なものは事務局の中にはあるのか。
<p>事務局 (岡田)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そこまではまだ定めておりません。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・網形成計画改定の方向性、方針もまだしっかり固まっていはいない状況であるということではよろしいだろうか。
<p>事務局 (岡田)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そのよう願ひする。

上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月から見直しとすると、今の国交省のメニューで令和2年度中に計画策定をやる補助メニューが使えるので、早めに手を挙げていただければと思う。ある程度スケジュール感が決まったら相談してほしい。 ・令和2年度の計画策定のための補助が受けられる可能性もある。 ・ただ、今年度中にエントリーしなければいけないので、なるべく早めに。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・1度事務局のほうでスケジュールを再確認して支局に相談をほしい。 ・あとはよろしいだろうか。 ・それでは、次の議題に入る。

3.議題

(4) 住民意見交換会について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意見交換会について、資料4の説明をお願いします。
事務局 (田中)	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4、住民意見交換会、ワークショップについてご説明する。 ・住民意見交換会について、それぞれの開催日程が決まった。お知らせする。 ・第1回については、北部ルートが11月30日(土)、南部ルートが11月16日(土)、東部ルートが12月7日(土)となっている。 ・第2回については、北部ルートが1月18日(土)、南部ルートが1月25日(土)、東部ルートが2月1日(土)となっている。 ・内容としては、第1回協議会でお示しした内容と同じになっている。 ・第1回の「2) 公共交通の役割を考えよう！」というワークショップでは、鉄道、コミュニティバス、タクシーなどの各公共交通について、利用目的別のターゲットについて、必ずカバーすべき主なターゲットや、主なターゲットをカバーしつつ、どのようにカバーをしていくか考えないといけないターゲット、できればカバーしたい、使ってくれるとうれしいターゲットなどについて議論していただき、ターゲットの優先順位をある程度明確にさせていただく。 ・「3) 将来の公共交通の課題を考えよう！」というワークショップでは、優先度の高いターゲットを踏まえ、利用目的ごとに、利便性、利用者確保、その他などの視点でそれぞれの課題を議論していただく。 ・第1回住民意見交換会参加者には無料乗車券を配布し、第2回の開催までに実際に乗車体験をしていただこうと考えている。 ・第2回では、第1回の意見の内容を復習しつつ、実際にきんちゃんバスを利用した感想をお話ししていただく。 ・「3) 公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設をまとめよう！」というワークショップでは、大判の地図にバスで行きたい施設の場所を利用目的別のシールを貼っていただき、施設同士を線で結んで、ルートのイメージを書いていただいたり、デマンドがよければ運行範囲を描いていただく。 ・委員の皆様にも意見交換会に関する何かいいアイデアなどあれば、ご意見いただきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> 資料には参加申込書もつけている。期限は本日中となっているが、弥富市図書館棟や十四山支所、総合福祉センター、十四山総合福祉センター、鍋田支所のほか、市ホームページで入手可能となっている。周りの方で興味を持っている方がいれば、お声がけをいただきたい。 以上で、議題（4）住民意見交換会についての説明を終わる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ただいまご説明いただいた住民意見交換会について、ご意見、ご質問あればお願いします。 特に事務局から住民意見交換会の中で議論するテーマ、アイデアがあればということで、ご意見があればお願いします。いかがでしょうか。 3つの地区に分かれて2回ずつやる。1回目は現状を知って役割を考える。 無料乗車券を配られるというのは、そういうのを作るのか、回数券をばらして配る形か。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> 名刺大の大きさの無料乗車券をワークショップの方用に作らせていただく。それを2枚、会場で渡す予定である。 三重交通のほうに事前に確認をさせていただき、こちらのひな形を入れさせていただければ大丈夫だというご了解をいただいている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 三重交通とも調整は済んでいるということである。 今のところ申し込みの状況はどうか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> 今現在、北部ルートについては30人程度のところに11名の方が、南部ルートについては1人、東部ルートについては4名となっている。 今後は、期間を今日までとうたっているが、延長させていただき、随時ある程度の人数を確保できるまで進めていきたい。 直近では、健康フェスタで再募集をかけたい。
安藤（代理） (愛知県)	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通について考えるということは非常に大事なことであり、ぜひやっていただければよい。 今の応募状況の数値でもわかるように、市民の方の公共交通に関する意識が恐らく低いのではないかと。せっかくワークショップをやられるのであれば、もっと望ましい姿というか、こうしてほしいという意見をどんどん募って、それに対して市としてどういう姿勢で対応していく、市民の皆様の要望に対してどうやって応えていくということをアピールすることによって市民の方は公共交通に関する思いが変わってくると思う。 1回でも2回でもどちらでも結構だが、例えばここにバス停が欲しいよとか、こういうふうにしてほしいという意見を募る時間を設けていただければよい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 今おっしゃられたのは、この懇談会の中でガス抜きの言いたいことを言ってよいという時間を設けるということか。
安藤（代理） (愛知県)	<ul style="list-style-type: none"> このワークショップはレベルが高いと思う。市民の方に公募をかけてやるということで、それに対する応募がこれだけ少ないということは、関心がない、このようなレベルの話は何を話していいかわからないという方が多いと思う。もう少しフランクにかみ砕いたものやってみたほうがよいのではないかと。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・募集するに当たって、こういう会であり、言いたいことを言えるということを出して来ていただくということである。 ・事務局、いかがだろうか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口申請や相談に見えられた方には、ワークショップのイメージがものすごく硬いというイメージを皆さん持っておられるので、そういう重いものではなく、今現在、公共交通、きんちゃんバスが走っているが、その状況に対して一遍なしにして、自分たちの地域にどういう流れが欲しいのかという感じのものでいいので、とにかく思っていることをざっくばらんに話していただきたいとお話をさせていただくと申し込んでくれる方も中にはいらっしやった。 ・ワークショップという重い、硬いイメージが皆さんに染みついているようである。窓口に見えられる方に対してはそうやって紹介をさせていただいて、気軽に来てほしいと話している。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・重いものではない、ハードルの高いものではないということを出してということである。 ・公募委員の山口さん、いかがだろうか。住民意見交換会に関して何か意見があればいただきたい。
山口委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容的に少しレベルが高いということだが、私は南部地区だが、現在1名、私が応募しただけである。 ・住民の方は弥富駅に出るにしても南部側というのは非常に交通の手段がない。家の前を歩いていかれて、木曾岬のバスを利用されている女子高生の方が見える。通勤・通学時間帯になるべく本数を増やしていただきたい。 ・せっかくお金を使ってやっていただいているなら、利用者が利用しやすい時間帯がよい。大きなバスではなくてもいい。お年寄りの方も病院に行かれるのにもバスかタクシーを利用されていると思う。 ・もっと住民の方が参加しやすい地域懇談会でもいいので、そういったレベルから広げていったほうがよい。いきなりこういうワークショップを開くのではなく、各集落ごとで区長を中心に意見を出していただいたものを代表者が持ち寄って会議をやっていただいたほうが現状がわかっていいのではないかな。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、いかがだろうか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・今委員から言われたとおり、この間、上井様のセミナーに参加させていただいて、帰って上司に報告をしたときに、1度地域に下りていくということのも大事ではないのかという話をしているところである。 ・今後どうするかはまた検討していきたい。参考になるので、よろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の住民意見交換会も、要は地域に下りていってという位置づけである。地域の方々に意見をいただく。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今おっしゃられたのは、さらに細かく自治区単位で意見を拾い上げるような会が必要だという意味か。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・さっきのセミナーの中で話されていたのが、こういうところに出られる方というのは自分で移動できる方が多い。本当に足腰が悪かったり、海南病院に行かれています方というのは結構苦勞しながらバスに乗って行かれています。そういった方はなかなかこういうところに出にくいところもあるので、本当に利用されている方や困っている方の意見の吸い上げをしようというときは、市の担当者が自ら住民のもとに足を運んでいろいろ意見を聞いたりすることも大事だというのがこの前のセミナーでもあった点である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の担当者にとっては足で稼ぐということで大変なことであるが、そういうことも必要だということである。 ・今年度は住民意見交換会をやるということになっている。少しでもたくさんの人たちに参加いただきたい。 ・1つの自治区で大体何戸ぐらいの世帯なのか。
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・バラバラである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージとしては、自治区の区長が自治区民の方々から普段から意見を聞いているものもあるだろう。そういうものを持ってここに参加して下さって自治区の方々の意見を代弁して下さるとよい。 ・意見交換をした結果をまた地元に戻って地域の方々にお話しいただける機会があるとよい。 ・南部地域で山口さんが参加されるということだが、ほかの地域の方々で参加していただければいい方はいるか。
山口委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ聞いてはいないが、区長にお話しする。利用されるのは学生やお年寄り、車に乗られる方は利用されない。そういった方の意見をある程度集約されて、自分の家族でもいいし、そういったものを意見として持ってきていただくとよいのではないか。 ・利用されている方の率直な意見がないと、現状走っていても空っぽの状態であるのが目につくので、せつかく高価なお金を使っているなら、もっと利用しやすい方法を持ち寄って、よりよいものにしていくとよいのではないか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・地元に戻って、いろいろな方に声をかけていただきたい。 ・佐野さん、いかがだろうか。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・私が住んでいるところは、昔からのお宅が多い。困るというのはどうだろうか。 ・私も息子も娘も近くにはいない。体が悪くなると困ったなということで、友達、タクシーとなってしまふ。私の地区では、隣の集落もそうだが、皆さん家族が多いから、あまりこういうのを使わなくてもよい。 ・きんちゃんバスはどうかと言うと、くるくる回って目的地に着くのによいぶんかかるからそんなのいいわという意見が結構ある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年も無料の券でどこか行こうかと言ったが、野鳥公園に行っても、いこいの里に行っても、ちゃんと乗り継ぎのいい時間はないし、イオンに行ってもまた少しの時間ですぐだからという、そういう意見が結構多い。乗り継ぎの時間がうまくできればよい。 ・費用がかかっても海南病院や駅などはもう少し増やしていただけるとありがたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった意見が地元でいろいろ出てくる。お話を聞かれたりするのかな。 ・東部ルートのエリアか。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの方々に、ぜひ住民意見交換会に参加していろいろ意見を言っただけだとよいと思う。 ・福寿会の早川さん、何か願する。
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・1つは、農村部では家族構成も多い。公共交通を使う人は、高校、大学に行く学生である。社会人はほとんど車で通ってしまう。どういったときに公共交通を使うのか。高齢者は家族で送る。足腰の悪い人、動けない人はデイサービスなどで送迎がある。活用する時間帯というのは、それをわざわざバスに乗ってやるかということである。調整区域が今の農村部では多いわけである。 ・この話が持ち上がった段階で、私もこのセミナーの案件で担当から話をしてみてくれないかということで、4集落は集まった機会があったので、その場でこの話を持ち出したが、全く関心がない。関心がなくてはいけない。今、市がどれだけの税金を使ってこの事業をやっているか。自分たちが一番いい方法を考えないといけない。そのためにはセミナーに参加してくれと言っても誰一人返事がない。そんなに使うのであれば、福祉バスならタクシーチケットみたいな感じでやったらいいのではないかとかいう極端な意見も出てきた。 ・現実問題として、家族構成や地区の実態というのをもう少し把握した上で、通勤・通学に重きを置くのか、今現在あるものを改正していくのか、デマンド方式でやるのか、そういったことももっとわかりやすく住民に知らせないといけない。 ・70代から50代のメンバー20人で論議をしようと思ったが、全然関心がない。やってもらえばいいんだ、税金運用すれば無駄遣いだという、それぐらいの話である。 ・私も初めてそういった場で話をして、誰か代表2人ずつでも出てくれないかと言ったが、全然だった。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・現状としては市民の関心が非常に低い状況にあるということである。 ・今おっしゃられた方々にもぜひ。なかなか難しいところではあるが。 ・住民意見交換会の中でやろうとしている内容が、バスが今あるが、バスに乗ろうということを勉強する会ではなく、皆さんの交通、移動をどうしていくかということから始めるということである。バスでどこに移

	<p>動したいかではなくて、どこにみんな行きたいのか、どういう移動があるのかから考えて、今の公共交通の現状はどうであって、どのような役割があるのか、どのような課題があるのか考えていこうという会である。バスに関心のない人でも十分耐え得る。そういう人の意見が必要になってくると思う。なかなか土曜日に出てきてというのは難しいのかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今バスはあくまでも手段である。お出かけ先の目的が一番重要なことで、その目的を果たすための交通手段である。その1つの選択肢にバスやタクシーの公共交通があるということになると思う。そういった基本的な部分から皆さんの理解を深めるような意見交換会という位置づけかと思う。うまくそういう言い方で誘っていただきたい。 ・事務局、何かコメントはあるか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通はバスだけではない。 ・地域の方が実際に思われていることをワークショップの場で述べていただけのが一番こちらとしては状況把握しやすいと思っている。 ・お声をかけられる方がいれば、硬い場ではなく、和気あいあいとやれる、いろいろ意見を出し合える場だとお誘いいただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見、ご質問等あればお願いします。いかがだろうか。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの話だが、飛島は500円でタクシーが頼めるということを知った。どういうものか。
荒尾(代理) (飛島村)	<ul style="list-style-type: none"> ・飛島村でタクシーの事業は公共交通の事業の一環としてやっている。 ・海南病院との往復で使っていただける海南病院通院支援タクシーを運行している。近鉄タクシーが運行事業者となっている。 ・飛島村から海南病院までを1日6便、時間が決まっている。帰りも海南病院から飛島村に帰ってくる1日6便程度を運行している。 ・電話で、この日の何時の便で使わせていただきたいと事前予約制となっている。 ・1回の乗車が500円。このタクシー事業は乗合になっている。村内のタクシーの停留所から出発ということになる。海南病院も1つの停留所でそちらに止まる。帰りの海南病院の停留所から飛島村内の指定した停留所に止まる。玄関前からの送迎ではない。村内の停留所からの乗り降りになっている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシーとして目的をはっきりさせて、海南病院への通院専用。別に海南病院に行かなくても海南病院までは乗せていってくれるので、ほかの用事があるとすればそれで使っても大丈夫か。
荒尾(代理) (飛島村)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。降りる場所としては海南病院で降りていただく必要はあるが、そこから実際に病院に行かれるか、そこから先はこちらも把握していない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そんなサービスを飛島はやられている。目的をはっきり絞っていく交通サービスというのは1つのやり方としてはよいと思う。 ・よろしいだろうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局のほうで、住民意見交換会は公共交通、きんちゃんバスのことを考える会という色を少し抑えて、もっとみんなが自由に移動に対して意見を言える場であるという、そういう言い方をしながら、少しでもたくさんの人に考える機会を持っていただきたい。願います。
--	---

3.議題

(5) 蟹江警察署移転について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・蟹江警察署移転について、資料5の説明をお願いします。
事務局 (田中)	<p>○資料 5 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 5、蟹江警察署移転についてご説明する。 ・現在仮移転中の蟹江警察署について、新蟹江警察署の完成に伴い移転をする。その関係で、バス停名の変更を実施したい。 ・警察署の移転時期は令和元年 12 月 16 日（月）を予定している。 ・影響を受ける対象ルートは北部ルートとなる。 ・対応としては、バス停名を「前ヶ平」に変更し、バス停は維持したいと考えている。 ・バス停名の変更は事業予算や準備期間等を考慮し、令和 2 年 5 月 7 日（木）を予定している。 ・時刻表については再発行をせず、未配布分についてシール等で対応するものとし、ポケット時刻表については、新規印刷分から変更対応する。 ・以上で、議題 5、蟹江警察署移転についての説明を終わる。ご審議のほどよろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・これは審議し、承認いただく事項である。 ・蟹江警察署移転についてということで説明いただいた。ご意見、ご質問等あれば願います。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法について聞かせていただきたい。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の変更については、現時点では 1 月の広報、ホームページ等でバス停の変更の案内等はさせていただきたい。正式には来年度の 4 月に再度バス停の正式名称等の変更は PR したい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいだろうか。 ・移転時期は 12 月、年内に移転があるが、いろいろなことのタイミングからバス停名の変更は 5 月になるということである。 ・その間、バスの中での車内放送は、運転手が口でしゃべるといっているのか。全くやっていないか。
小黒委員 (三重交通)	<ul style="list-style-type: none"> ・移転後については、運転手の案内でやって、新しいバス停名ということで対応する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・12 月から 5 月までというかなり長い間があつて、警察署がそこ不在の「蟹江警察署」というバス停名というのは住民にとっては違和感のあるところである。何とかならないのか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> ・蟹江警察署の移転については、昨年度の段階では時期等はまだはっきりしていないということで、今年度当初のところで予算措置をしていなか

	った。移転について正式に把握したのが今月に入ってから警察署のほうに確認した結果、12月16日とお聞きした。次の協議会が例年12月になっており、そのときだと蟹江警察署が移転した後になってしまうので、今回第2回のところで議題に上げている。
早川委員 (福寿会連合会)	・バス停変更は、バスの中で停留所が変わるよと、それだけでいいのではないか。
山崎議長	・費用のかからない形で、もう少し早いタイミングで何とかならないのか。
事務局 (岡田)	・今考えているのが、事務局でシール等を製作して、バス停だけに関連するところにすべて貼るという方法で、音声等については来年度という方法もあるのではないか。
山崎議長	・バス停などは上から貼ってしまえばいい。 ・車内放送も運転手が口で対応してくれる。そういうことができるなら、名称自体を早く変えてしまえばよいのではないか。
事務局 (岡田)	・変更時期については、再度検討させていただき、次回報告させていただきたい。
山崎議長	・三重交通さん、いろいろお手数をおかけするが、よろしく願います。
小黒委員 (三重交通)	・わかった。
山崎議長	・ほかにご意見、ご質問はよろしいだろうか。 ・これは協議事項ということで、バス停名の変更という軽微なものだが、変更時期は令和2年5月とあるが、これは事務局のほうでももう少し早めて、警察署移転後なるべく早く変更するという形に進めていただく。バス停名は地区の名前を使って、「前ヶ平」に変更するということである。 ・ご承認いただける方は挙手をお願いする。いかがだろうか。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・それでは、変更の手続きを進めていただきたい。

3.議題

(6) その他

山崎議長	・議題、その他である。事務局から願います。
安藤(代理) (愛知県)	・机前にお配りさせていただいたチラシについてPRをさせていただく。 ・愛知県では、車と公共交通を賢く使い分ける取り組みをエコモビリティライフ、略してエコモビと言ってPRをしているところである。 ・11月6日(水)愛知芸術文化センターにおいて、県民の集いというイベントを開催する。鉄道写真家の中井精也さんをお招きして講演をいただいたり、実際にエコモビに対する取り組みをしていただいて表彰される団体の具体的な取り組み内容の発表など、公共交通に関して非常にためになるイベントである。 ・平日だが、ぜひご都合をつけていただき、周りの方にもお声がけいただき、ご参加いただきたい。よろしく願います。以上である。
山崎議長	・毎年、エコモビリティライフ県民の集いをやっている。弥富は先ほど住民の方々の公共交通、バスに対する意識が低い、全く興味がない人が多

	<p>い雰囲気があるということだが、愛知県全体で見られてどうか。地域によって興味を持っている方が多い地域があるとか、そういう傾向があるのか。こういう県のイベントに出ているらっしゃる一般市民の方々がいらっしゃるとか、そういったことが何かあれば。</p>
<p>安藤（代理） （愛知県）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正直言うと、弥富市のような市町が多い印象である。公共交通は人ごとという市が多く感じられる。 ・例えば西尾市の旧一色は集落で自分たちでバスを運行させるとか、瀬戸市も菱野団地という大きい住宅団地があるが、そこも同じように住民の方々がどうい公共交通にするべきかを考えられて、それに対して市が助成する形で住民バスを運行したり、そういった取り組みをされている市町もいくつかある。 ・そういう中で思うのは、市民の声をいかに聞いて、それをいかにかなえてあげるかというところが非常に重要なのではないか。西尾市も瀬戸市も、限られた地域に対する費用負担は発生はするものの、そういうところからどんどん公共交通の醸成を高めているという印象がある。そこまですることができるかというところはあるが、そういった印象を受けている。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体でご意見、ご質問等言い忘れていたことがあれば、お願いします。よろしいだろうか。 ・それでは、議事は以上である。事務局にマイクをお返しする。ありがとうございました。
<p>4.閉会</p>	
<p>事務局 （岡田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項であるが、次回協議会は12月ごろを予定している。日程が決まり次第ご案内するので、よろしくお願いします。 ・以上をもって、令和元年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を終了する。今後ともご協力賜るようお願いする。
	<p>以上</p>